



「創造の現場から」 一時代に先駆けた新しい価値を創る一

元 本田技研工業(株) 経営企画部長

水戸部 啓一 氏

◆ 講師紹介

1971年東京理科大学卒業、同年本田技研工業(株)入社。1972年に(株)本田技術研究所に移り、アコード開発プロジェクトチームPL、研究部門マネージャー、欧州研究所4輪統括、商品企画室マネージャーを歴任の後、1998年本田技研工業(株) 環境安全企画室長、経営企画部長(役員待遇参事)等の要職を務められ、2010年に退職された。その間、環境省中央環境審議会環境研究技術専門委員会委員、次世代自動車普及戦略検討会委員、(社)自動車工業会環境委員会委員、自動車とエネルギー検討会主査などの公職に就かれた。現在も国際環境経済研究所、自動車産業研究会などに参加しておられる。

◆ 講演内容

ホンダは1948年の創業以来、2輪車、4輪車、汎用製品を世に出し、ユニークな商品や技術を梃子に大きく成長を遂げてきた。人の役に立ち、喜んでもらえる商品や技術を創造することは全ての製造業にとって大きな関心である。ホンダの創業者達にとっても、将来にわたって優れた製品を生み出すことは大きな課題であった。本講演ではホンダの研究開発の考え方や仕組み等とともに、成長の原動力となった4輪車の基幹機種が誕生した1970年代と1990年代に焦点をあて、それらが生み出された背景と経緯、そして創造のカギについて体験を基に紹介する。



「QOL向上を目指す支援技術の イノベーション研究拠点形成」

岡山理科大学 工学部知能機械工学科 教授

山田 訓 氏

◆ 講師紹介

1979年京都大学理学部を卒業、1981年同修士課程生物物理学専攻を修了、1984年同博士課程を修了、1986年理学博士を授与される。1985年から2005年まで、三菱電機株式会社中央研究所、先端技術総合研究所で、神経情報処理、ニューラルネットワーク、シグナル伝達系のモデル化の研究に従事。2005年岡山理科大学工学部知能機械工学科教授に就任し、現在に至る。

◆ 講演内容

平成24年4月に、文部科学省の私立大学戦略的研究基盤形成支援事業(研究拠点を形成する研究)に「QOL向上を目指す支援技術のイノベーション研究拠点形成」が採択され、5年間の研究プロジェクトが開始された。今後ますます高齢化が進むわが国では、生活の質(Quality of Life: QOL)を向上させる技術が重要となる。本プロジェクトでは、社会連携研究推進事業で行った「地域社会とのコラボレーションによるQOL向上の一体的アプローチ」(2006-2010年度)を基礎に、QOLを向上させるために必要な生活支援機器を用いた改善技術と環境を改善する技術の開発を行う。このプロジェクトには岡山理科大学工学研究科の18名の研究者が参加し、それぞれのテーマで研究を開始した。講演では、基礎となる研究事例とプロジェクトでの研究目標を紹介する。